

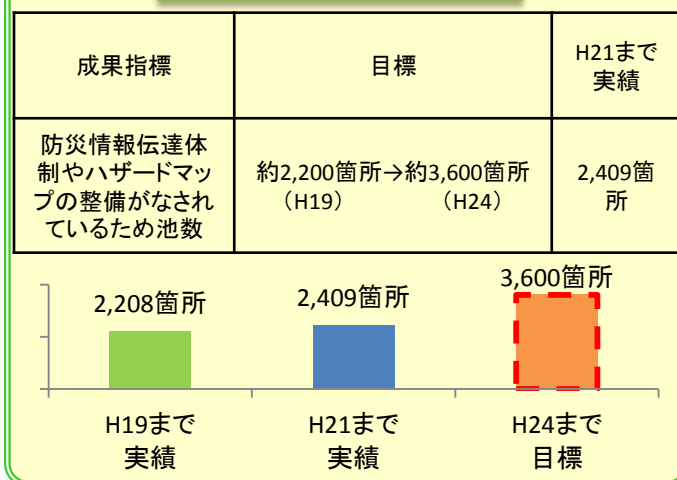
# 【政策目標⑤】 減災の観点も重視した農業災害の防止による安全・安心な地域社会の形成への貢献

## 実施状況

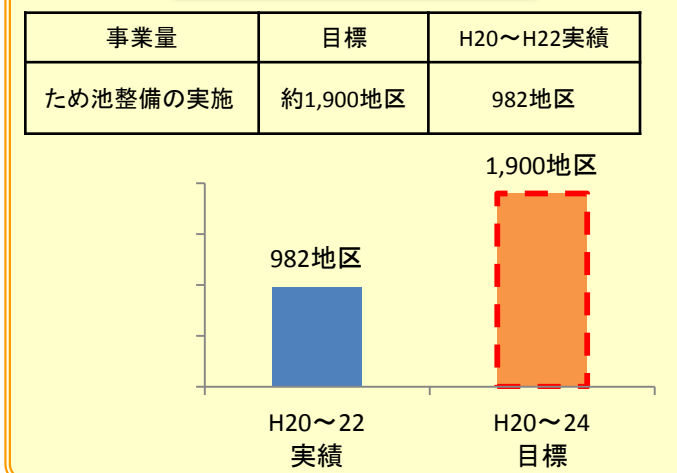
○防災情報伝達体制やハザードマップの整備などのソフト対策を2,409箇所を実施するとともに、ため池のハード整備を982地区で実施。

○東日本大震災を契機に、ため池の決壊等のリスクを軽減するため、今後ともハード・ソフトの一体的対策を推進。

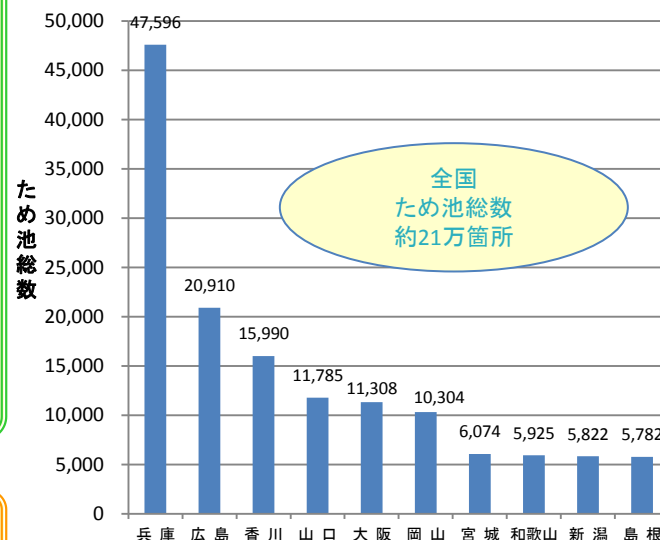
### 目指す成果の達成状況



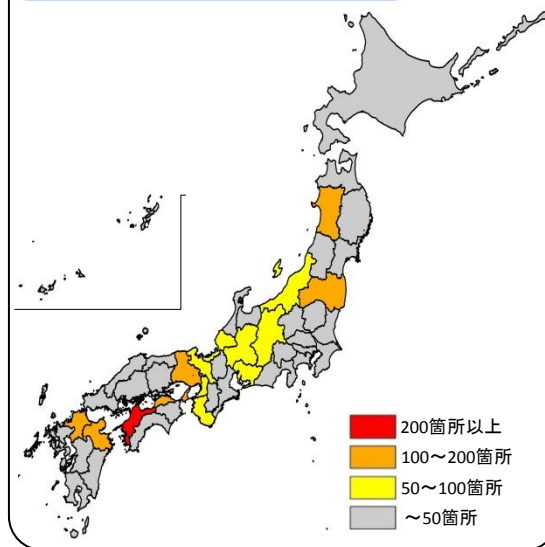
### 事業量の進捗状況



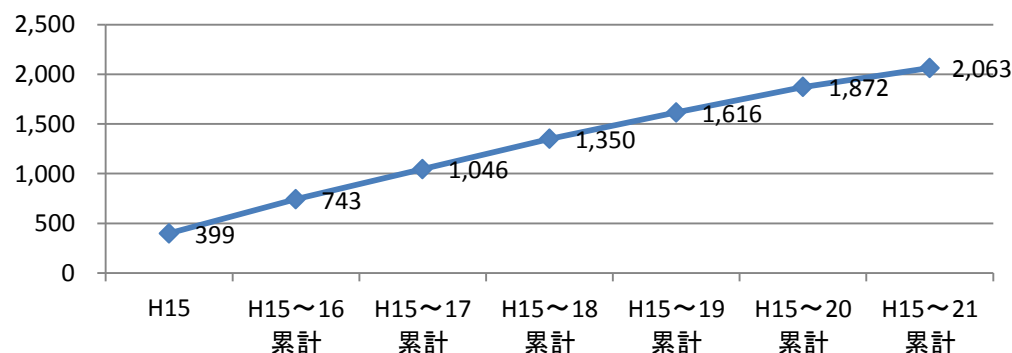
### ため池総数(上位10府県)



### 防災伝達体制やハザードマップが整備されたため池数



### 農業農村整備事業(国営及び補助)で整備されたため池数(H15～21)



## 事業の概要

事業名:ため池等農地災害危機管理対策事業

地区名:京丹後地区

事業主体:京丹後市

被害想定面積:38.6ha 事業工期:H19~

主要工事:洪水吐9箇所、堤体保護整備7箇所、斜樋整備10箇所、ハザードマップ作成2箇所、リアルタイムため池水位計1箇所

## 取組の概要

### ハザードマップと緊急連絡体制



### 適切な日常管理と

### 緊急時の対応

#### 日常管理

- ・堤体の草刈りを定期的に行い、ため池法面の亀裂と漏水の有無を確認。
- ・洪水吐周辺の清掃。
- ・年に1回ため池の水を抜き、空にした状態で普段点検できない部分を確認。

#### 緊急対応

- ・ため池からの洪水の排除。
- ・河川からため池への水の流入防止。

### 事業の効果

ハード整備を補完するソフト対策により、災害の未然防止と災害発生時の被害を軽減。